



News Release



2011年6月2日

各位

会社名 参天製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 黒川 明
(コード番号 4536 東証・大証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーショングループ グループマネージャー 日比貴史
(TEL 06-6321-7007)

広範囲抗菌点眼剤

「クラビット®点眼液 1.5%」(高濃度レボフロキサシン点眼液)の新発売について

参天製薬株式会社(本社:大阪市)は、本日、広範囲抗菌点眼剤「クラビット®点眼液 1.5%」(一般名:レボフロキサシン水和物)を新発売しましたので、お知らせいたします。

「クラビット®点眼液 1.5%」は第一三共株式会社から導入し、当社が広範囲抗菌点眼剤として国内で市販している「クラビット®点眼液 0.5%」の有効成分であるレボフロキサシン濃度を 1.5%に増加した点眼剤です。「クラビット®点眼液 0.5%」は、2000年4月に発売されて以来、各種外眼部感染症に対して、優れた治療効果及び高い安全性が評価されていますが、「クラビット®点眼液 1.5%」は、高い眼組織内移行を示すことが確認されており、より高い臨床効果を発揮する事が期待されています。

参天製薬では、「クラビット®点眼液 1.5%」が外眼部感染症の治療において、患者さんの QOL(生活の質)向上に貢献できるものと期待しています。

「クラビット®点眼液 1.5%」の主な特長:

- ・ PK-PD 理論*に基づいて開発した高濃度ニューキノロン系抗菌点眼剤です。
- ・ 「クラビット®点眼液 0.5%」と比較して、さらに高い眼組織内移行を示します。
- ・ 広い抗菌スペクトラムを有します。
- ・ 臨床試験において高い有効性が確認され、主症状の早期消失が期待できます。
- ・ 重篤な副作用は、眼局所・全身ともに認められていません。

*PK-PD 理論

薬物動態学(PK: pharmacokinetics)と薬力学(PD: pharmacodynamics)を組み合わせた考え方で、薬物の「組織移行性」や「薬理活性」をもとに、有効かつ安全な投与方法を設計するため、研究されている理論。

「クラビット®点眼液 1.5%」の製品概要

製品名	クラビット®点眼液 1.5%
一般名	レボフロキサシン水和物
剤型	水性点眼剤
効能・効果	<p><適応菌種> 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、マイクロコッカス属、モラクセラ属、コリネバクテリウム属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、ヘモフィルス・エジプチウス(コッホ・ウィークス菌)、シュードモナス属、緑膿菌、ステプトロホモナス(ザントモナス)・マルトフィリア、アシネトバクター属、アクネ菌</p> <p><適応症> 眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、眼科周術期の無菌化療法</p>
用法・用量	通常、1回1滴、1日3回点眼する。なお症状により適宜増減する。
保存方法	遮光、室温保存
包装	プラスチック点眼容器 5mL×10本
薬価	1mL 138.10円
承認取得日	2010年12月21日
薬価収載日	2011年3月18日
発売日	2011年6月2日



以上